

平成 18 年 2 月 2 日

各 位

みずほ証券株式会社

Evercore Partners

**みずほ証券とブリッジフォードグループ及び Evercore Partners との
日米間の M&A アドバイザリー業務における戦略的提携のお知らせ**

みずほ証券と米国ニューヨークに本拠を置く投資銀行である Evercore Partners は、みずほ証券の 100%子会社であるブリッジフォードグループとの三者間で、日本と北米の間でのクロスボーダーM&A のアドバイザリー業務に関する業務提携契約を締結致しましたので、お知らせ致します。

みずほ証券にとって今回の提携は、主に日本企業による大型クロスボーダーM&A 案件をより充実した体制でサポートすることを目的としています。Evercore Partners は米国の M&A アドバイザリー分野において優れた実績と高い評価を有するブティック型投資銀行であり、みずほ証券は本提携をもとに Evercore Partners の豊富な投資銀行業務ノウハウ、産業知識、人的ネットワークを活用することで、顧客企業に対してより高度かつ充実したアドバイザリー・サービスを提供することが可能になります。

Evercore Partners は、みずほ証券との提携によって、今後 M&A の活発化が見込まれる日本市場への取り組みを可能にし、顧客企業に対するグローバルなアドバイザリー・サービスの機能を格段に強化することとなります。みずほ証券は、日本最大級の金融グループであるみずほフィナンシャルグループの中核会社として多くの有力な日本企業を顧客としており、Evercore Partners にとって新たな可能性をもたらすパートナーです。

本提携の対象となる案件は、基本的には、日本企業と北米企業との間で行われる大型のクロスボーダーM&A 案件及びリストラクチャリング案件となります。また、当社の子会社であるブリッジフォードグループは、従来から主として日本企業に対し北米における M&A アドバイザリー業務を提供しておりますが、本提携の実施後も、引き続きその機能を強化してまいります。

<みずほ証券及びブリッジフォードグループの概要>

みずほ証券は、デット、エクイティ、M&A、ストラクチャードファイナンスをコアビジネス領域として、質の高い人材と最先端の金融技術を活かし、常に高付加価値の商品・サービスを提供する屈指のプロフェッショナルハウスとして、グローバルな事業展開を行っています。また、アドバイザリーグループは、M&Aに関する最先端の知識とノウハウを駆使し、グループの保有する産業知識や顧客基盤の厚みを活かした提案や情報提供を行うことによって、様々な形態の案件で、多くのお取引先からアドバイザーとして指名されています。

ブリッジフォードグループは、1990年に設立され、10年を超える歴史を有する、ニューヨーク所在のM&Aアドバイザリー専門会社です。みずほ証券の子会社として、日米欧のお客様に対し、買収・合併やジョイントベンチャーの組成・解消等、M&Aに関する総合的なフィナンシャル・アドバイザリー・サービスを提供しております。特に、米国、日本及びその他のM&Aマーケットで豊富な経験を積んだ米国人インベストメント・バンカーと日本人スタッフ混成チームによるきめの細かい高度なサービスを提供することをその強みとしております。

<Evercore Partnersの概要>

Evercore Partnersは、1996年に設立され、米国を中心とする法人顧客に対しM&A、企業再生等のアドバイザリー業務を提供する投資銀行です。創業者の1人であるロジャー・C・アルトマン会長は、リーマン・ブラザーズ投資銀行部門の共同ヘッド、ブラックストーングループの副会長を歴任し、米国クリントン政権時代には財務副長官の要職にありました。また、Evercore Partnersは、プライベート・エクイティ及びベンチャー・キャピタル・ファンド事業を展開しているほか、アセット・マネジメント分野にも進出しています。近年のアドバイザリー実績としては、SBCによるAT&Tの買収、パンナムサットのコールバーグ・クラビス・ロバーツへの売却、シンギュラーによるAT&Tワイヤレスの買収、CBSのパイアコムへの売却のほか、タイコ、センダントのグループ再編、サイエンティフィック・アトランタのシスコシステムズへの売却、スイス再保険によるゼネラル・エレクトリック保険事業の買収等の案件があり、米国におけるブティック型投資銀行の中では常に上位に位置付けられています。

以 上

<本件に関するお問合せ先>

みずほ証券 管理部広報室 TEL : 03-5208-2030